

各ワーキンググループの状況報告

住宅・拠点関係ワーキング 状況報告	担当取組項目： 1～6, 8～20, 24～26
<p>● 中古住宅の流通促進（取組項目番号 14・15 関連） （取組状況）中古住宅の流通促進システムの検討 （課題）</p> <p>① 旧耐震の中古住宅への適用：近畿不動産活性協会による「住宅ファイル制度」や、一般社団法人移住・住みかえ支援機構による「マイホーム借り上げ制度」を援用することを想定しているが、これらの制度は、新耐震に対応した住宅に適合するものであるため、旧耐震の物件にも適応可能な制度を検討する必要がある。ワーキングでは、ニュータウン内の戸建住宅・テラス住宅各 1 件に対して、中古住宅のインスペクションを実際に実施した結果についての情報共有し、さらに、中古住宅流通システムは、新耐震・旧耐震にかかわらずインスペクションを必ず実施することを原則とすることを確認した。旧耐震の物件は、耐震診断を実施し、耐震診断の結果とインスペクションの結果を情報として提供することとした。</p> <p>② 利用者の費用負担：「住宅ファイル制度」については、建物の状況調査や価格調査売り手や買い手に費用負担が発生するため、利用をしてもらえようような費用負担の設定について検討が必要である。例えば、旧耐震の住宅については、価格調査を実施せず、建物状況調査のみを実施する選択肢を、ただし、建物状況調査については、買い手の関心が高い、シロアリ検査や給水・給湯管、排水管、換気ダクト、給排水・電気・ガス設備といった項目を含めて調査とすることが望ましい。</p> <p>③ 運営主体の検討：現在は、中古住宅の流通促進について検討する協議会を設立することが想定されている。協議会を設立できたとしても、その運営を担う事務局の体制についての検討ができていない。</p> <p>（今後） 特に、③ 運営主体の検討 について、協議会の運営体制だけでなく、情報発信時における広報資料や HP の掲載資料の作成等の業務を担う主体と費用負担について十分な議論ができていない。他都市における協議会の運営体制について情報収集し、洛西 N T での運営体制について具体的に検討することが喫緊の課題である。</p> <p>● 住み替え相談（取組項目番号 13 関連） （取組状況）住み替え相談会を実施しながら、今後の運営を検討 ○ 9 月 2 2 日（土）住み替え相談会実施（福西会館） ○ 1 0 月 5 日（金）住み替え相談会（講演会（司法書士等）と相談会）（洛西支所） （課題）</p> <p>① 相談体制について：これまでは、「サブセンターの活用による働く場の創出」に関連して、専門家（ファイナンシャルプランナーを想定）が、会館の一室をシェアオフィスとして利用することを検討していたが、初期の段階から専門家の常駐する相談窓口を開設することは難しいため、常設窓口が開設できないことの代替策として、専門家による住替え講演と相談会を定期的に実施することとした。</p> <p>② まちづくりとの連携：まだイメージの段階であるが、仲介手数料の一部をまちづくり（健康づくりに関わるサービスを提供）に還元する仕組みや、そのことを包括的にマネジメントする、まち会社のような組織が必要である。</p> <p>● 景観まちづくり（取組項目番号 25 関連） （取組状況）低層住宅地（戸建・テラス）における通り景観の調査 （課題）戸建景観まちづくりの担い手の発掘、中古住宅売買時における植栽の継承方法の検討 （今後）新しい居住者の交流場として、緑道の清掃活動を実施するなど、担い手の発掘と、利用者がまちの情報を得ることが両立できるような活動を創出する可能性について検討する。</p>	
主なメンバー （敬称略）	香水義三（住まいと景観チーム）【9月から高木幸三】、吉岡和潔（吉岡不動産鑑定事務所）、万殿慎二（住まいと景観チーム）、安枝英俊（兵庫県立大学）、嶋崎雅嘉（アルパック）、西山亨（独立行政法人都市再生機構）、山根慎吾（京都市住宅供給公社）、平井淳史（洛西支所地域力推進室）、秋山龍哉（洛西支所地域力推進室）、矢田部衛（都市計画局まち再生・創造推進室）、池田均（都市計画局都市総務課）、齋藤久也（都市計画局都市総務課）

今年度取り組む 取組項目番号	13 住み替え相談 14 住宅ファイル制度・インスペクション制度の推進 15 中古住宅の評価を反映できる金融商品の開発
今年度の 主な活動内容	1 WGの開催 ○平成30年4月27日 平成30年度第1回住宅・拠点WG開催 住み替え・空き家相談会等について など ○平成30年6月8日 平成30年度第2回住宅・拠点WG開催 住み替え・空き家相談会等について など ○平成30年8月8日 平成30年度第3回住宅・拠点WG開催 住み替え相談会の実施内容等について など ○平成30年9月14日 平成30年度第4回住宅・拠点WG開催 住み替え相談会の実施内容の確認等について など ○平成30年10月12日 平成30年度第5回住宅・拠点WG開催 9月及び10月に開催した住み替え相談会における課題等について など ○平成30年11月19日 平成30年度第6回住宅・拠点WG開催 今年度の取組について など ○平成30年12月12日 平成30年度第7回住宅・拠点WG開催 1月及び2月に開催する相談会について など ○平成31年1月18日 平成30年度第8回住宅・拠点WG開催 住み替え相談会における相談員育成の講習会について など 2 住み替えに関する講演・相談事業の実施 ○平成30年9月22日 福西会館にて住み替え相談会を実施 ・相談者：3名 ※URと京都女子大学によるたけのこカフェ（コーヒー淹れ方講座）と同時開催 ※市民しんぶん西京区版（9月15日号）にて周知 ○平成30年10月5日 洛西支所にて住み替え相談会（講演会及び相談会） ・講師：司法書士（空き家発生予防のおしかけ講座を活用：まち再生創造推進室） ・講演会：49名参加 ・相談会：5名 ※9月4日付け広報発表, 市民しんぶん西京区版（9月15日号）, チラシの回覧にて周知 ○平成30年12月3日 洛西支所にて住み替え相談会（講演会及び相談会） ・講師：ファイナンシャル・プランナー：大石泉 ・講演会：35名参加 ・相談会：4名 ○平成31年1月24日 新林会館及び境谷会館にて相談会 ※新林及び境谷会館での「気軽に運動できる場」を実施に合わせて、住み替え相談会を実施 ※京都新聞（30.12.22朝刊）に1,2月開催の相談会の記事掲載 ○平成31年2月14日 新林会館及び境谷会館にて相談会（予定） ※新林及び境谷会館での「気軽に運動できる場」を実施に合わせて、住み替え相談会を実施

<p>今後の予定</p>	<p>2019 年度の取組の検討</p> <p>① 住替えに関する講演・相談事業の継続的な実施 9月と10月に開催した相談会以外に、今年度内に相談会を数回実施予定 なお、相談会はできるだけサブセンターの会館を利用する方向で検討する。 ・講演内容の講演録を作成し、人材育成の資料とする。 ・個別相談事例を参考に相談時のマニュアル作成を目指す。</p> <p>② 継続的实施のための運営体制等の検討 自立に向けた体制や運営方法等の検討</p> <p>③ 新たな取組の検討</p> <p>次回：第9回WG・・・3月4日（月）10時30分から（洛西支所）</p>
---------------------	--

子育て関係ワーキング 状況報告

担当取組項目：
7, 27～37

これまでにワーキンググループを6回開催している。

● 木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」(取組項目番号7, 29関連)

(取組状況) 平成29年度に、洛西支所1階ロビーに、京都市内産の木材を使用した子育て支援スペースを設置した。平成30年度に、同スペースの愛称を募集し、地域の子育て支援団体等に協力いただき選定した結果、愛称は「らくさい きのひろば」に決定した。

「らくさい きのひろば」における平成30年度の主な取組状況は以下のとおり。

1 子育て支援イベントの実施

地域の子育て支援団体等と連携し、以下の子育て支援イベントを定期的で開催している。

(1) ぐんぐん☆ぷらす

主 催：京都市久世保育所（地域子育て支援拠点事業）

共 催：洛西地域の児童館

洛西支所保健福祉センター子どもはぐくみ室

内 容：自由遊び、ふれあい遊び、感触遊び、子育て学習会、交流タイム、育児相談等

対 象 者：1歳半から未就園までの子どもとその保護者

開催日時：毎月第2月曜日 午前10時～11時45分

実施状況：

	日時	参加人数		日時	参加人数
1	平成30年6月11日(月)	19人	5	平成30年10月15日(月)	23人
2	7月9日(月)	12人	6	11月12日(月)	14人
3	8月6日(月)	14人	7	12月10日(月)	14人
4	9月10日(月)	10人	8	平成31年1月7日(月)	22人

その他：内容により、子どもはぐくみ室内保健指導室で実施する場合がある。

(2) ま～ぶりんぐ in 洛西支所

主 催：つどいの広場ま～ぶりんぐ

内 容：簡単工作、ふれあいあそび、あかちゃんアート、
交流のためのフリータイム等

対 象 者：乳幼児とその保護者

実施状況：



	日時	参加人数	主な内容
1	平成30年5月17日(木)	36人	簡単工作(ボックスパズル)、あかちゃんアート春 他
2	7月19日(木)	31人	簡単工作(りんごの小物入れ)、あかちゃんアート夏 他
3	12月20日(木)	29人	簡単工作(あったかフェルトモビール)。あかちゃんアートお正月 他
4	平成31年1月17日(木)	43人	簡単工作(コロコロおさんぽトイ) 他

※時間はいずれも午前10時～午後2時

(3) えほんとふれあおう！

主 催：洛西読み聞かせの会

協 力：西京区市役所洛西支所，洛西図書館

内 容：絵本の読み聞かせ，絵本の貸出し，交流のためのフリータイム等

対 象 者：未就学の子どもとその保護者

開催日時：毎月第2木曜日 午前10時～11時30分

毎月第4木曜日 午後2時～3時30分

実施状況：

	日時	参加人数		日時	参加人数
1	平成30年6月14日(木)	29人	9	平成30年10月11日(木)	28人
2	6月28日(木)	21人	10	10月25日(木)	27人
3	7月12日(木)	21人	11	11月8日(木)	44人
4	7月26日(木)	20人	12	11月22日(木)	15人
5	8月9日(木)	21人	13	12月13日(木)	9人
6	8月23日(木)	23人	14	12月27日(木)	15人
7	9月13日(木)	21人	15	平成31年1月10日(木)	16人
8	9月27日(木)	11人	16	1月24日(木)	33人

そ の 他：子どもはぐくみ室で実施している8箇月健診（毎月第2，第4木曜の午前）と1歳半児健診（毎月第2，第4木曜の午後）に合わせて実施。

2 区民交流スペースのリニューアル

「らくさいきのひろば」の横にある区民交流スペースを拡張し，パンフレットスタンドの設置，スペースへ入りやすくするために扉を撤去するなど，子育て情報を発信するためのリニューアルを行った。

今後，区民交流スペースで入手できる子育て情報を整理・充実させるとともに，「らくさいきのひろば」の利用者が，区民交流スペースに立ち寄って子育て情報を入手できるように周知等を行う。

なお，上記取組と併せて，支所の来庁者が必要な情報を確実に入手できるよう，庁舎における子育て情報（チラシ，ポスター等）の発信方法を整理していく。



3 木のぬくもり子育て講座の実施

乳幼児の保護者を対象として，子どもと一緒に参加できる子育てに役立つ講座を以下のとおり開催している。

	日時	タイトル	講師等
第1回	平成30年10月29日(月)	ママもパパも楽チン！ 子どもも喜ぶ安全抱っこひも講座	マミーズアップ
第2回	11月29日(木)	親子で学ぼう！ 正しい道路の渡り方	西京警察署
第3回	12月17日(月)	親子で絵本を楽しもう！ ～絵本の見せ方，読み方，選び方～	洛西図書館
第4回	平成31年1月28日(月)	子どもの写真をかわいく残そう！ ワンポイントスマホフォト講座	マミーズアップ
第5回	2月25日(月)	ケガや急病のときもこれで安心！ 赤ちゃんのための救急救命講座	西京消防署
第6回	3月18日(月)	親子のきずなを深めよう！ 赤ちゃん <small>みたとに</small> とふれあう簡単タッチケア講座	助産師 味谷 ゆかり

※ 時間はいずれも午前11時～正午

子どもも喜ぶ安全
抱っこひも講座
(30.10.29)



親子で絵本を
楽しもう！
(30.12.17)



また、連続講座のプレイベントとして、平成30年10月20日(土)に「赤ちゃんからの絵本とコンサート」を実施し、京都市立芸術大学の学生によるヴァイオリンとフルート演奏や絵本の読み聞かせなどを行った。(参加者：83名)

(課題・今後)引き続き、スペースにおいて開催可能な子育て支援イベントや連続講座の実施主体の掘り起こし等を行っていく。

● 洛西ニュータウンにおける病児保育のニーズ調査のためのアンケート実施(取組項目番号28関連)

(取組状況)病児保育サービスの実施に関する検討を進めるうえで、病児保育に対する具体的なニーズの把握を行うため、アンケート調査を実施することとし、アンケートの具体的な内容について検討を重ねてきた。

実施方法は、スマートフォンなどで手軽に回答できるようにインターネットを想定しているが、紙媒体でも並行して実施する予定である。紙媒体のアンケートは、児童館や保育園などに協力いただき、回収ボックスを設置する。

(課題)アンケートの結果をどのように活用していくのか検討が必要。

(今後)実施時期は、平成30年度中を目途に検討中。まずは、回収ボックスの設置協力について各児童館、保育園等に個別に依頼する。

● 洛西ニュータウンに必要な子どものセーフティネットの検討(取組項目番号31関連)

(取組状況)子ども食堂にとらわれず、洛西ニュータウンの子どもたちにどのような課題があるのか、また、それらの課題に対してどのようなセーフティネットが必要なのかということについて、ワーキング内でワークショップを開催するなど、情報交換及び現状把握を行っている。

(課題)必要なセーフティネットを具体的に検討することと併せて、実施主体の掘り起こし作業が必要。

(今後)引き続き、必要なセーフティネットやその内容についての議論を深める。

● 京都経済短期大学と洛西ニュータウンの小学校との連携による教育プログラムの検討(取組項目番号33関連)

(取組状況)京都経済短期大学学長、育みサポーター、洛西支所とで検討を重ね、対象校をまずは新林小学校と境谷小学校に絞ったうえで、平成29年度末から30年度初頭にかけて、各校の校長と打合せを実施した。

その結果、まずは各小学校で実施している土曜学習、放課後学び教室、部活動等の課外学習に大学生が試験的に参加することにより、小学校と大学生の関係づくりを行いながら、具体的な連携内容やスケジュールを検討していくことで合意し、以下のとおり連携した取組を行っている。



花脊山の家における魚焼きの手伝い(境谷小)



運動会の組み体操での安全確保(境谷小)

・境谷小学校 ※大学生3名が参加。

	日時	内容
1	平成30年6月9日(土)	土曜学習の支援(「漢字教室」, 児童の学習支援)
2	9月22日(土)	
3	9月29日(土)	運動会の予行練習手伝い, 体育館での演技支援
4	10月4日(木)	運動会の運営支援, 児童支援
5	10月7日(日)	境谷学区区民運動会の運営支援
6	10月19日(金) ~22日(月)	花背山の家宿泊学習(5年生)の運営支援・児童支援
7	10月27日(土)	土曜学習の支援(「漢字教室」, 児童の学習支援, 自転車安全教室, その他手伝い)
8	12月8日(土)	土曜学習の支援(「漢字教室」, 児童の学習支援, 「カレンダーづくり」, 児童の学習支援)

※平成31年1月及び2月にも活動予定あり。

・新林小学校 ※大学生3名が参加。

	日時	内容
1	平成30年6月8日(金)	部活動バレーボールの指導補助
2	6月11日(月)	放課後まなび教室(紙芝居を子どもたちに読む。)
3	6月13日(水)	
4	6月29日(金)	部活動バレーボールの指導補助
5	9月12日(水)	放課後まなび教室(紙芝居を子どもたちに読む。)
6	9月19日(水)	
7	9月28日(金)	
8	10月13日(土)	運動会の指導補助
9	11月12日(月)	放課後まなび教室(紙芝居を子どもたちに読む。)
10	11月21日(水)	
11	11月28日(水)	
12	12月3日(月)	
13	12月5日(水)	
14	12月12日(水)	
15	平成31年1月9日(水)	

※年度内に放課後まなび教室での活動予定あり。(日程未定。)

(今後) 今後, 小学校と大学生との関係が構築されていく中で, 大学生のスキルを, 小学校のニーズにより生かすことのできる活動につなげられないか検討していく。

● ママパパのまちとのつながり支援チームの立上げ(取組項目番号34関連)

(取組状況) 子育て等を機に一時的に離職し孤立しがちなパパやママが, 自身が就職時に身に着けたスキルやノウハウを生かして, 社会との接点を持ち続けられる機会を創出するための推進組織「ママパパのまちとのつながり支援チーム(以下「まちつなチーム」という。)」の立上げの取組について, 平成29年度は, 洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業補助金(活動スタートアップ支援枠)を活用し, スキルアップのチラシづくり講座を2回開催し, 人材発掘を行うとともに, 洛西ニュータウン内の複数の団体や施設に対して, まちつなチームへのニーズを把握するためのヒアリング調査を実施した。

1年間検討した結果, まちつなチームという新たな団体を立ち上げるのではなく, 子育て支援団体「マミーズアップ」の活動の1つとして実施していくこととした。

現在、ニューズレターやチラシ作成の依頼を試験的に受託しているが、今後、受託できる仕事内容、依頼の募集方法、受付体制、料金体系等を整理していく必要がある。

また、平成30年度西京区地域力サポート事業補助金の「草の根活動支援枠」で、マミーズアップの活動として申請し、交付決定を受けており、2月又は3月には講座等を開催し、人材発掘を行う予定。

(課題) 受託できる仕事内容、依頼の募集方法、受付体制、料金体系等を整理していく必要がある。

(今後) 試験的に仕事を受託しながら、課題を洗い出し、改善を図っていく。また、受託した仕事を引き受けてもらう人材を発掘する取組も行う。

主なメンバー (敬称略)	によつきつき：大内田 恵美子 ラクセーナ商店会事務局：大島 俊哉 つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀 マミーズアップ：坂本 景子 しぶ柿文庫：片山 静江 のはらくらぶ：佐藤 洋子 らくさいスコレ：玉手 優子 木の実保育園：黒住 木末 京都市久世保育所：國吉 啓太，田村 優梨子，井尻 千晴，高橋 知里 新林児童館：小倉 真由美 福西児童館：高橋 睦巳 京都市境谷児童館：宮川 眞弓 京都市西京区境谷学区民生児童委員協議会：吉川 博美 京都市ユースサービス協会：米原 裕太郎 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，秋山 龍哉 西京区洛西支所子どもはぐくみ室：藤森 紀行，藤井 有紀子 都市計画局都市企画部都市総務課：齋藤 久也
今年度取り組む 取組項目番号	7 子育て支援情報の発信拠点の設置 28 病児保育サービスの実施についての検討 29 子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチングイベントの開催 31 子どものセーフティネット活動の推進等について 34 「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム(仮称)」の設立
今年度の 主な活動	平成30年10月3日(水) 第6回ワーキンググループ開催
今後の予定	次回のワーキンググループは、平成30年度中に開催予定。

公園関係ワーキング 状況報告

担当取組項目：
21～23, 57～69

これまでにワーキングを7回開催している。

● 竹林公園内「子どもの広場」の整備素案の作成（取組項目番号57, 60, 64関連）

（取組状況）京都市都市計画局では、竹林公園内「子どもの広場」の再整備を進めており、再整備後の同広場を活用し、定期的にプレイパークを開催することを想定している。

そのため、都市計画局がコンサルタント業者に委託し、継続的にプレイパークを開催する仕組みづくりを検討しており、他都市におけるプレイパークの事例収集、住民や有識者等へのヒアリングなどを行い、プレイパーク運営の体制案や運営マニュアルの作成等を進めている。

現在、具体的な運営体制（案）として、右下の図に示す内容を想定している。

ワーキングにおいて、運営体制（案）を提示し、意見を求めたところ、運営体制に地域の若年世代・子育て世代を巻き込む必要があるなどの意見があったため、具体的な方策を検討中。

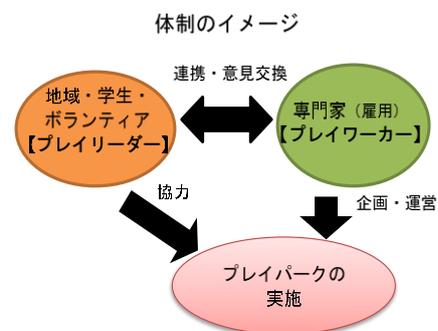
（今後）プレイパークの運営における地域や専門家などの協力体制について更に検討を進め、運営に参加してもらえる方（特に若年世代）の掘り起こしなどを行っていくとともに、プレイワーカーについては、雇用の方法や費用面についても検討を進め、候補となる主体に打診を行っていく。

また、運営体制案や運営マニュアルについては、ワーキングの場を活用するなどして、地域住民や有識者にも引き続き意見をいただきながら検討を進める。

なお、上記検討を進めていくに当たり、洛西支所が地域住民と連携して実施している「ネイチャーパーク@らくさい」、つどいの広場ま～ぶりんぐが中心となって開催している「プチ☆プレイパーク」、地域住民が主体となり開催している「らくさいプレイパーク」など、既存のプレイパークとの連携も視野に入れながら進めていく。



現在の竹林公園「子どもの広場」



（参考）用語の説明

名称	役割
プレイワーカー（雇用を想定）	・子どもの遊び場づくりに関する専門家 ・プレイパークの企画・運営やプレイリーダーとの調整などを行う
プレイリーダー（交通費等実費支給）	・地域や学生、ボランティア等に協力を依頼 ・見守り等、運営を支援

【参考】公園整備に関する今後の予定

平成30年度中 基本計画を策定

平成31年度 ランドスケープの実施設計，建築物の基本設計・実施設計

平成32年度 施工

● ネイチャーパーク@らくさいの実施（取組項目番号64, 65関連）

（取組状況）昨年度に引き続き、洛西支所の事業として、地域のNPO法人、障害者就労支援団体、ボーイスカウト、読み聞かせの団体等と連携し、主に小・中学生とその保護者を対象とした冒険遊び場（プレイパーク）「ネイチャーパーク@らくさい」を以下のとおり開催した。

・ネイチャーパーク@らくさい～福西公園～

日 時：平成30年7月15日（日）午前10時～午後3時

場 所：福西公園

内 容：竹を使った水遊び，生物多様性クイズ，竹のジャングルジムや竹のからくり装置づくり，ロープ渡り，クラフトブース（ロープワーク見本づくり，竹の水鉄砲づくり等）ダンボール遊び，カフェブース等

参加人数：191名



竹のジャングルジムづくり

・ネイチャーパーク@らくさい～大蛇ヶ池公園～

日 時：平成30年10月8日（月・祝）午前10時～午後3時

場 所：大蛇ヶ池公園

内 容：自然観察会・昆虫食体験，生物多様性クイズ，竹のジャングルジムや竹のからくり装置づくり，ロープ渡り（暗夜行路），クラフトブース（ロープワーク見本づくり，傘袋ロケットづくり等），ダンボール遊び，カフェブース等

参加人数：409名



自然観察会・昆虫食体験

また，ネイチャーパーク@らくさいを含め，洛西地域で開催されている様々なプレイパークを今後も継続して開催し続けていくために，他都市でのプレイパークの事例を学び，地域住民，事業者，行政などが，洛西における今後のプレイパークの在り方，子どもにとっての遊びの大切さなどを話し合う場として，以下のとおり講演会&ワークショップを開催する。

・ネイチャーパーク@らくさい特別企画 もっと知りたい！プレイパーク！

日 時：平成31年2月10日（日）午前10時～午後0時30分

場 所：西京区役所洛西支所 2階 大会議室

内 容：講演会&ワークショップ

「子どもの根っこは遊びで育つ！～せたがやプレーパークのもくろみ～」

（講師：特定非営利活動法人プレーパークせたがや 理事 天野秀昭さん）

参加費：無料（要申込み。洛西支所まで電話，FAX又はメールで）



参考ホームページ

（課題）住民，地域団体，事業者や行政などが連携・協力して，洛西ニュータウン内の公園で継続的に開催していく仕組みづくりを検討する必要がある。特に運営主体の掘り起こし，運営資金の調達方法などは重要である。

また，ニュータウンの交流人口の増加，定住促進のため，本取組を市内外に広く周知していく必要があるが，より効果的な周知の手法を検討していく必要がある。

（今後）平成31年度初頭に次回のネイチャーパークを開催予定（具体的な実施時期，場所等は未定。）。

● 小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新（取組項目番号66，67関連）

（取組状況）昨年度から，アクションプログラムにも絡めて，5箇年の計画で公園整備を進めており，今年度も安心・安全に使っていただけるよう，以下のとおり樹木の適正化等に努めていく。ただし，あくまでも予定であることから，変更になる可能性がある。

また，昨年9月の台風21号により，各公園の樹木が大きな被害を受けており，その復旧作業が想定を上回っていることから，樹木管理については，当初予定よりも予定が後ろ倒しになる可能性がある。

施設更新

- ・ 大蛇ヶ池公園：ベンチ，バスケットブランコ，健康遊具の新設
- ・ 小畑川中央公園（右岸）：公園入口及び藤棚部分の舗装の改修，ベンチ・テーブルの更新
（平成31年1月7日（月）～3月15日（金）（予定））
- ・ 小畑川中央公園（左岸）：藤棚の舗装の改修（バリアフリー化），ベンチ・テーブルの更新
（平成31年1月7日（月）～3月15日（金）（予定））
- ・ 大蛇ヶ池公園：バスケットブランコ，健康遊具及びベンチの設置，遊具設置箇所の土舗装敷
設，階段部分に点字ブロックの設置
（平成31年1月7日（月）～3月15日（金）（予定））
- ・ 新林池公園：フェンスの更新
（平成31年1月末頃～3月15日頃（予定））

樹木管理

- ・ 新林池公園：噴水の周りの樹木伐採及び公園西側の竹林の伐竹
- ・ 境谷公園：自転車歩行者道がある南側の樹木伐採
- ・ 福西公園：トイレ周りの樹木伐採
- ・ 南緑地：外側の通路に面した部分の樹木伐採
- ・ 小畑川中央公園：公園南エリアのうち，昨年度実施できなかったところを中心に樹木伐採
なお，平成32年度は，福西公園を中心とした施設更新，平成33年度は，新林池公園や竹
の里公園等を中心に，全体的な施設更新を想定している。

（課題）樹木管理や施設整備等において，地域住民の意見等を聞きながら推進していく必要がある。

（今後）地域住民や公園愛護協力会等と情報共有しながら，適切に取組を進める。



境谷公園南側の樹木伐採（作業後）



大蛇ヶ池公園の施工状況（工事中）

主なメンバー （敬称略）

洛西ママカフェ：青木 志織
 つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀
 しぶ柿文庫：片山 静江
 のはらくらぶ：佐藤 洋子
 株式会社おもちゃあ：辻 宣幸
 洛西フリースペース：中道 秀貴
 NPO法人京都発・竹・流域環境ネット：吉田 博次
 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中））：山本 長司
 公園愛護協力会（小畑川中央公園（北））：高橋 進
 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南東））：福富 修一郎
 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南）） }：杉浦 秀好
 公園愛護協力会（竹の里公園） }
 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中央））：鈴木 綾
 公園愛護協力会（大蛇ヶ池公園）：岩倉 紘一
 公園愛護協力会（新林池公園）：勝本 竹彦
 公園愛護協力会（境谷公園）：菅 利二

	<p>公園愛護協力会（福西公園）：中山 正紀 公園愛護協力会（境谷北ひろば）：前田 照彦 洛西ニュータウン創生推進連絡会小畑川活用検討チーム：高木 幸三 福西児童館：高橋 睦巳 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，山口 覚，秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：池田 均，齋藤 久也 建設局北部みどり管理事務所：奥村 和也，水本 貴司，山戸 伸治 京都市住宅供給公社洛西事業部：山根 新吾，土田 毅 オブザーバー：平井 義昌</p>
今年度取り組む 取組項目番号	<p>57 子どもの楽園（仮称）の再整備 60 園内資源の積極的な情報発信 64 プレイパークの開催 65 魅力イベントの開催 66 魅力ある公園再整備 67 緑の適切な管理</p>
今年度の 主な活動	<p>平成30年 6月25日（月） 第5回ワーキンググループ開催 10月 1日（月） 第6回ワーキンググループ開催 12月18日（火） 第7回ワーキンググループ開催</p>
今後の予定	<p>次回のワーキンググループは，平成30年度中に開催予定。</p>

高齢者・障害者関係ワーキング 状況報告

担当取組項目：
38～41, 43～46

これまでにワーキンググループを10回開催している。

● 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信（取組項目番号38関連）

（取組状況）デイサービスセンター，障害者支援の事業所や，地域包括支援センター，社会福祉協議会，行政などが個別に情報発信を行っており，取組を推進している。

西京区地域福祉推進委員会（事務局：西京区社会福祉協議会）の29年度の取組として，「西京区福祉総合マップ」（西京区内の社会福祉施設の所在地，連絡先，Googleマップ上での位置を調べることができるマップ）を新たに作成し，平成30年3月28日（水）からインターネット上で公開している。

参考 掲載施設数

高齢者福祉施設	102箇所
障害者福祉施設	56箇所
児童福祉施設	72箇所
合計	230箇所

（課題）情報は質・量ともに豊富にあるので，いくつかの分野では情報の整理ができていますが，情報が必要な人に適切な情報を届けるアプローチの方法や機会の検討が不十分。

（今後）高齢者や障害者が，必要な情報をより入手しやすくするための，情報の整理と広報手段の検討（RCVの活用など）。

● 障害や障害者に関する啓発活動の展開（取組項目番号40関連）

（取組状況）地域の方が集まるイベントなどにおいて，障害者を支援する団体，ボランティアグループなどがパネル展，作品展，チラシ配布などを行い，取組を進めているほか，学校での福祉教育，区総合防災訓練への障害者の参加と啓発を進めている。また，関係者に対しても啓発を目的とした研修を実施している。

（課題）既に取り組んでいる啓発活動をもっと広めていく機会や手段があればいいが，単に回数を増やすだけではなく，内容の充実等の観点からも検討が必要。

（今後）障害や障害者に関する住民の理解が広まるよう，引き続き，効果的な啓発の手法について検討する。

● 障害者を支えるボランティア活動の支援（取組項目番号41関連）

（取組状況）西京区社会福祉協議会が，視覚障害者支援ボランティア養成講座を実施するなどして，ボランティア育成の取組を行っている。また，当事者団体がそれぞれ研修・講座を行っている。

（課題）入門講座への参加者が減少傾向にある。

（今後）障害者支援のボランティアに関心のある人を増やしていく必要があるため，裾野を広げるような取組や計画を検討していく必要がある。

● 認知症の人を支える人材育成（取組項目番号43関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会では，西京区認知症区民公開講座や専門職による研修会等を定期的に開催している。また，西京区認知症ネットワークでは，洛西管内の小・中学校における「認知症あんしんサポーター養成講座（以下「認サポ」という。）」の実施など，地域で認知症の人を支える環境づくりに取り組んでいるほか，地域ケア会議においては，徘徊模擬訓練の実施，西京区での認知症アドバンス講座の実施，認知症の人を発見して，専門機関へとつなぐ仕組みづくり・個別検討などを行っている。

その他，管内の地域包括支援センターが，地域からの要請により，学区自治連合会や学区民

生児童委員会、学区社会福祉協議会などに対し認知症の講座を実施している。

(課題) より幅広い層の区民に認知症について知っていただくため、引き続き様々な対象者に対する認知症の講座等を実施していく必要がある。

(今後) 引き続き、西京区認知症ケア協議会や西京区認知症ネットワークでの取組を進め、小・中学校や学区の各種団体に対し、認知症に関する講座を開催するとともに、対象者の拡大を図っていく。

***西京区認知症地域ケア協議会構成団体**

西京医師会(事務局)、西京区役所及び洛西支所保健福祉センター、西京警察署、西京消防署、西京区社会福祉協議会、京都市立中学校長会西京支部、西京区自治連合会、西京区民生児童委員会、西京区老人クラブ連合会、京都市地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議会西京支部、認知症の人と家族の会、虹の会、ますかつとの会、京都市老人福祉施設協議会西京支部、西京区通所介護施設連絡会、介護支援専門員会、西京区地域介護予防推進センター、西京地域訪問看護ステーション連絡会、病院地域連携実務者会、京都府西京薬剤師会、京都市西京歯科医師会、西京コンビ二防犯対策協議会、京都経済短期大学、京都府理学療法士会、京都府作業療法士会

***西京区認知症ネットワーク構成団体**

【コアメンバー】

西京区役所及び洛西支所保健福祉センター(事務局)、
西京区及び洛西管内の地域包括支援センター、西京区社会福祉協議会

【オブザーバー】

西京医師会、京都市西京歯科医師会、京都府西京薬剤師会、西京警察署、西京消防署、
居宅・包括運営会議

● 認知症に関する啓発活動の展開(取組項目番号44関連)

(取組状況) 西京区認知症地域ケア協議会が、西京区認知症区民公開講座を開催しているほか、西京区認知症ネットワークでは、平成28年度には、らくさいさくら祭や健康ひろば、平成29年度には、西京区民ふれあいまつりにおいて、それぞれ認知症に関するブースを開設し、啓発活動に努めてきた。平成30年度も西京区民ふれあいまつりにて、ブースを開設。認知症に関するクイズ・アンケートを実施し、アンケート集計結果からさらなる認知症理解促進のための分析等検討する。

また、認知症初期集中支援チームでは、認知症初期の方への発見及び対応を行っている。

(課題) 引き続き、地域で開催されるイベント等の機会を通じて、より多くの区民に認知症について知っていただく必要がある。

(今後) 今後も、西京区認知症ネットワークによる取組を進め、概ね年1回程度、区民対象の大規模イベントにおいて啓発活動を行う予定である。

● キャラバン・メイト(認知症あんしんサポートリーダー)の地域での活動充実につながる支援の検討(取組項目番号45関連)

(取組状況) 洛西管内においては、地域からの依頼等により、地域包括支援センターに在籍しているキャラバン・メイトによる認サポを適宜開催しているほか、小学校と連携し、小学生を対象とした講座も開催している。

(課題) 地域からの認サポの開催要請が増加していることから、京都市長寿すこやかセンターとも連携し、管内の包括支援センターだけでなく、区内のキャラバン・メイトにも積極的に認サポの開催を担っていただく必要がある。

また、認サポ受講者には、サポーターステップアップ講座をはじめとした福祉研修を受講し

てもらうなど、認知症や介護に関する知識をさらに高める一歩進んだ意識づくりの機会を設け、さらには、「キャラバン・メイト」要請講座の受講を促し、専門職以外のキャラバン・メイトを増やしていく必要がある。

(今後) 西京区認知症ネットワーク、西京区認知症地域ケア協議会などにおいて、地域包括支援センター以外の区内のキャラバン・メイトに対し、洛西ニュータウンや近隣地域で活動する機会を積極的に提供するための取組を検討する。

● **軽度の認知症の人が、洛西ニュータウンや大枝・大原野地域でいきいきと活動できる仕組みづくりの検討（取組項目番号45関連）**

(取組状況)

- ・ 地域住民等により、軽度認知症の方が集える「認知症カフェ」の取組が行われている。
- ・ なんやかんや「大原野」推進協議会において、よもぎを大原野の特産品として育てることを目的に栽培をしている「よもぎチーム」の活動と軽度認知症の方や障害のある方をマッチングするイベントを平成30年6月3日（日）に試験的に実施した。

当日は、境谷のおれんじカフェから7名、認知症あんしんサポートリーダー1名、支援センター「らくさい」から2名の参加があり、よもぎを実際に栽培している畑を見学した後、屋内の作業場にて、よもぎの葉を取る作業を約1時間程度行っていただいた。

また、9月17日（月・祝）には、同イベントの第2回目を開催し、境谷のおれんじカフェから2名、支援センター「らくさい」から1名の参加が得られた。よもぎ畑の見学とよもぎの摘み取りを行い、その後、春日乃茶屋にてよもぎの葉を取る作業を行った。

2回の取組を通じたアンケート結果などに基づき、今後、課題を精査し、この取組が定期的に行える仕組みづくりを検討していくとともに、よもぎチーム以外の連携先も積極的に検討していく。

(課題) 軽度認知症の方や障害のある方の課題やニーズと、受入れ先である「よもぎチーム」のニーズがある程度合致することが分かった。しかし、軽度認知症の方（当事者）の参加について、おれんじカフェのスタッフから声掛けもあったが、参加者が少なかったことから、ニーズと合致するののかの分析、検証も必要。

今後は、経費をどう捻出するのか、といった課題やよもぎの葉取りの作業以外も行っていただくか等の詳細を引き続き検討していく必要がある。

(今後) まずは、「よもぎチーム」との連携を中心に検討していくが、同協議会の「ごまチーム」、大原野の竹林整備など、他の受入れ先の掘り起こしも行う。また、軽度認知症の方などのニーズを関係団体等にヒアリングするなどして情報収集を行う。

<p>主なメンバー (敬称略)</p>	<p>NPO法人洛西福祉ネットワーク：齋藤 信男 京都市西部障害者地域生活支援センター「らくさい」：田中 優 京都市沓掛地域包括支援センター：内山 裕之 京都市境谷地域包括支援センター：佐藤 誠 一般社団法人西京医師会 塚本 忠司, 土井 たかし 京都市西京区社会福祉協議会：島田 尚和, 小原 滉平 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部健康長寿推進課：赤木 範子 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部障害保健福祉課：出口 由美子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史, 秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：齋藤 久也 京都市まちづくりアドバイザー：吉田 泰基</p>
--------------------------------	---

今年度取り組む取 組項目番号	3 8 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信 4 0 啓発活動の展開 4 1 障害者を支えるボランティア活動の支援 4 3 認知症の人を支える人材育成 4 4 認知症に関する啓発活動の展開 4 5 地域における認知症サポート活動展開の支援検討
今年度の 主な活動	平成30年4月12日(木) 京よもぎ大原野体験ツアー下見 平成30年5月1日(火) 第8回ワーキンググループ開催 平成30年5月30日(水) 第9回ワーキンググループ開催 平成30年6月3日(日) 京よもぎ大原野体験ツアー実施 平成30年8月29日(水) 第10回ワーキンググループ開催 平成30年9月17日(月・祝) 京よもぎ大原野体験ツアー実施
今後の予定	次回のワーキングは、平成31年2月中に開催予定。

サブセンターワーキング関係 状況報告		担当取組項目： 42, 70, 71
<p>● 各サブセンター・会館の有効活用（取組項目番号70関連） (取組状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民アンケート調査の結果を受け、境谷サブセンターで「コンビニエンスストアの誘致」の検討 ○ 福西会館で「気軽に運動できる場の開設」に向けた試行実施 ○ 「会館の利用促進」を図るため利用料金体系の見直し <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニについては、店舗の整備・運営に必要な幹線道路に面した土地の確保 ・ 気軽に運動ができる施設については、今後の運営主体や実施場所の検討 ・ 会館については、夜間を含めたより利用しやすい環境づくりや、便所をはじめ施設の老朽化への具体的な対策 <p>● 分譲店舗の有効活用（取組項目番号71関連） 現在、具体的な取組はない。</p> <p>(● 高齢者・障害者の買物実態調査実施の検討（取組項目番号42関連）は未着手)</p>		
主なメンバー (敬称略)	(商店会) 増岡朝治, 山村幸夫, 東憲一, 阿蘇俊夫, 長留省悟, 長谷川督, 齋藤信男, 久保井康二, 竹井竜司 (自治連) 片岡純治, 長瀬純一郎, 今西敏史, 藤本廣志 (大学) 安枝英俊 (行政) 池田均, 片山尚彦, 秋山龍哉 (公社) 西澤亨, 山根新吾, 土田毅, 鶴川隆一	
今年度取り組む 取組項目番号	70 各サブセンター会館の有効活用	
今年度の 主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 境谷サブセンターのコンビニエンスストア等の誘致については、平成30年8月8日付けでキョウテク(株)から(株)セブン-イレブン・ジャパンを共同事業者とする新たな計画が提出されたのを受け、同月24日に改めて「事業者選定委員会」を開催し、業同事業者を株式会社セブン-イレブン・ジャパンに決定した。 → 「福西会館で気軽に運動できる場」の試行実施を平成30年2月14日から5月2日までの間で、全9回実施し、利用者アンケートを行った。(参加者116名)このアンケート結果を踏まえ、平成30年12月13日より新林会館・境谷会館の2会館で3月までの期間で10回の参加日を設けた「気軽に運動できる場」を開設した。 ・ 各会館の利用を促進するため、4月1日に市住宅供給公社会館使用規定を改定し、夜間使用料を午後と同額に引き下げた。今後とも、各会館の利用促進を図るとともに、コミュニティ機能の向上等に資する具体的な活用方法を検討する。 ・ サブセンター活性化に向けた具体的方策を検討するため、平成30年12月26日より会館関係者へのヒアリングを開始した。 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 境谷サブセンターのコンビニエンスストア等の誘致については、平成30年10月末に公社と事業者であるキョウテク株式会社の間で契約締結等を行い、今年3月末の開店を目指していたが、鉄骨等の納期の遅延に加えて、関係機関等との調整に時間を要したことから、現在、事業スケジュールの見直しを行っている。 	

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 「気軽に運動できる場」については、前回のアンケート結果によると、継続して受講したい意見が多かったため、一連の期間で運動の内容を替えて参加できる内容を企画し、新林・境谷会館の2箇所で始めた。またコミュニティ機能の向上等に資するため、住宅拠点WGが実施する「住み替え講演会・相談会」と連携を図り、同日開催することで身近なところに気軽に相談できる場を設けた。・ サブセンター活性化に向けた具体的方策を検討するため、地元商店会等へヒアリングを実施し、将来の活性化イメージを作成する。 |
|--|--|

観光・情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング 状況報告

担当取組項目：
47～56, 72～76,
推進体制

・30年度から「観光・サブセンター関係ワーキング」から観光分野を切り離し、当該ワーキングに統合し、「観光・情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング」としている。

● 「らくさいスマートサイクリング」の実施（取組項目番号51, 52, 53, 54, 55 関連）

（取組状況）エミナース、大枝・大原野の飲食店や寺社等魅力資源、地元で開催されるイベント等と連携したサイクリングイベント「らくさいスマートサイクリング」（H29年11月25日）を実施。走行参加者47名参加。洛西口、エミナースをスタートとする3つのコース（10km前後）及び各スタート地点からコースを定めないサイクルツアー。

30年度は、阪急洛西口～桂駅間プロジェクト「TauT 阪急洛西口」第1期エリアにおいて、阪急レンタサイクル、サイクルベースあさひがオープンし、今後の観光プログラム構築に向けた連携について検討

（課題）事業者が主体的に取り組む観光プログラムの構築や周遊コースの開発、観光プログラムの定着等

（今後）サイクリングイベントの成果やサイクリングイベント時に実施したアンケート等を踏まえた観光プログラム構築に向けた検討及び観光マップの作製

● ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）メディアやWEBの媒体により、ニュータウンに関する魅力情報の発信を検討する。

大枝・大原野を含む洛西地域でのエリア観光を意識した新たな映像コンテンツの作成を検討中

（課題）メディアの関心を引く、ニュータウン活性化の取組の情報提供

（今後）ニュータウンの認知度向上の魅力発信を目指す。

● 洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）昨年度、洛西ニュータウンの街並みや、地域の子育て活動をまとめた移住促進の動画を阪急梅田ビッグマンで、優しい人たちと豊かな自然をテーマにした移住促進の動画を阪急百貨店前デジタルサイネージにて放映

今年度は、関係機関と連携した情報発信の検討を行う。

（課題）多くの人の目に触れる情報発信である一方、効果の検証が難しい。

（今後）より効果的な情報発信の方法を検討中。

● 地域の取組支援とブランド化戦略を意識した発信（取組項目番号72, 73, 74）

（取組状況）洛西NTのイメージづくりに向け、ストック（情報、媒体、イベント等）を活用した発信を検討中

（課題）まちづくりの機運醸成、イメージ向上

（今後）ブランド化につながるコンテンツ、発信手法の検討

● まちづくり通信の発行（取組項目番号76）

（取組状況）第10号を成30年7月に、第11号を同年11月に発行（※平成28年度から定期的に発行：洛西支所管内の世帯に、全戸回覧）

（課題）タイムリーな活性化の取組の発掘・発信

（今後）30年度に4回程度発行予定

● 洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業（「推進体制②」）

（取組状況）平成30年4月～5月に募集（募集期間中に事前説明会1回，事前相談会2回を実施）し，7月に審査会及び採択事業決定（採択事業：4事業）

（課題）採択事業等の取組進捗に対する効果的な支援

（今後）年度末に事業状況を確認し助成金を交付

<p>主なメンバー （敬称略）</p>	<p>村下 恒雄 NPO法人 らくさいライフスタイル 吉田 泰基 まちづくりアドバイザー 新治 光子 洛西ケーブルビジョン株式会社 首藤 歩 洛西ケーブルビジョン株式会社 辻 宣幸 株式会社おもちゃあ 小山 良治 株式会社高島屋洛西店 大西 章 ホテル京都エミナース 大島 俊哉 ラクセーヌ商店会 永田 賢司 阪急電鉄株式会社 小川 直子 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 加藤 淳 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 鈴木 純一 株式会社あさひ 西澤 亨 京都市住宅供給公社 山根 新吾 京都市住宅供給公社 森 重樹 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 秋山 龍哉 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 池田 均 京都市都市計画局都市総務課 齋藤 久也 京都市都市計画局都市総務課 片山 尚彦 京都市都市計画局都市総務課 石井 努 株式会社地域計画事業研究所</p>
<p>今年度取り組む 取組項目番号</p>	<p>5 1 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討 5 2 洛西口，桂駅等での観光情報発信 5 3 観光・散策ルートの検討 5 4 新たな観光プログラムの開発 5 5 大枝・大原野と連携した周遊コースの開発 7 2 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築 7 3 ニュータウンへの流入促進につながるPR活動の推進 7 4 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信 7 6 まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信 推進体制① 洛西ニュータウンアクションプログラムの進行管理を行う「推進会議」の設立 推進体制② 洛西ニュータウンアクションプログラムに基づく市民主体の取組を支援する制度の導入</p>
<p>今年度の 主な活動</p>	<p>1 来訪者がニュータウン，大枝・大原野地域をサイクリング等で楽しむことができるよう，事業者と連携した観光プログラムの検討 ・観光情報発信機能（観光マップ配布等） ・観光プログラム推進機能（レンタサイクル等） 2 地域の魅力資源と連携した観光推進体制の構築検討 ・観光情報発信（観光マップ配布等） ・来訪者へのもてなし環境の整備（給水，トイレ等サイクリング客への支援策の検討，スタンプラリー等楽しみながら観光できる仕組みの検討等） 3 継続的な情報発信 ・まちづくり通信等への掲載</p>

	<p>4 情報発信のターゲットや発信コンテンツ等について検討する「ブランド化戦略」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存情報発信媒体や内容等の把握と、それらを活かした映像コンテンツの作成、発信強化、発信手法等の検討 ・「魅力周知」「誘客」「移住促進」等、情報発信の目的とターゲット等を明確にし、具体的な発信コンテンツや発信内容等について検討 <p>5 観光連携・情報発信等と連動したエリアマネジメントの展開に向け、WGで検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光プログラムの運営や情報発信等を統括し、観光・情報発信の取組を推進する体制の検討 <p>6 平成30年12月7日（金）ワーキング開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○らくさいスマートサイクリングの「運営機能」、「拠点機能」について検討 <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルの利用状況等 ・サイクルオアシスを設置するなど地元事業者との連携に向けた具体的な推進の検討 ○イメージ戦略と情報発信について検討 <ul style="list-style-type: none"> ・洛西NTのブランド化の動き、大原野地域との連携、阪急洛西口駅高架下の動き、乙訓エリアとの連携等 ・洛西NTのイメージ動画作成（3つのテーマ：「スローライフ編」「活き活き安心住まい編」「アートイベント」：3月）→4月以降 You Tube で流す。 ○洛西地域のエリアマネジメント組織の検討
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトと連携した観光プログラムの構築を図るため、関係事業者の参画のもと、今後の観光プログラム展開の軸となる観光案内・情報発信等拠点機能の充実について検討を進める。また、大枝・大原野地域を含めた広域的な観光展開に向け、当該地域での観光に関する取組状況を把握し、地域の事業者・団体等との連携を強め、観光コンテンツの充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車を活用した観光展開について、洛西NT等でシェアサイクルステーション開設を受け、関連事業者と連携した観光のしくみづくりの検討を進める。 ○効果的なニュータウンの魅力発信をめざし、住み続けたいまち、訪れたいまち等のイメージブランド化の検討を進めるとともに、情報発信体制、手法、コンテンツ等について検討を進める。 ○観光・情報発信の取組と連動したエリアマネジメントの可能性について、地域・事業者・行政が連携し、検討を進める。